

あったか通信

11月

発行日令和3年11月4日

発行元 千歳市地域学校協働活動本部 協働活動コーディネーター熊本・岡本・吉田

支笏小の児童6名が「ゆるキャラ」ずかんを作成



10月5日に支笏湖ビジターセンターで公立千歳科学技術大学の学生さんを先生に迎え、ワークを通して支笏湖の恵み（生態系サービス）を理解することを目的にAR（コンピュータによる拡張現実）を活用したゆるキャラ図鑑を作成しました。同大学情報システム工学科曾我研究室の学生11名と曾我先生に参加していただきました。

まず、児童が学生さんと一緒に、タブレットのカメラで支笏湖の生き物等の情報をセンター内で撮影、収集し、それをヒントにゆるキャラを紙に描き、「らくがきAR」というアプリでAR化しました。AR化されたゆるキャラはセンター周辺の自然の中で動きアニメーション化され、図鑑が完成。

最後に、参加した児童全員が作った図鑑を発表しました。子どもたちのオリジナルな発想で出来たゆるキャラが、支笏湖の自然の中でかわいらしく動き回る楽しい図鑑ができあがりました。

児童たちも楽しく作業ができ、大学生のみなさんも素晴らしい自然環境での活動に良い思い出ができたことと思います。このことはNHKの夕方のニュースで放送されたことから再確認できました。



千歳小学校で草木染め体験

千歳小学校では4年生が草木染めの体験学習を行いました。講師は、北斗ふれあいサークル代表の圓山さんを含め5名。この体験会は、子どもたちに何か一つ思い出を作ってあげたいという、保護者の方たちの強い希望により実現しました。

ビー玉を包み輪ゴムで縛ったりクリップを挟めたりと、思い思いの柄を作っていきます。藍染の液から出した後、空気に触れることで色がどんどん鮮やかになる工程では、大変驚いていました。

「初めての草木染めは、絞った布を開くまでどんな柄が出来上がるのかドキドキした、とても楽しかった！またやりたい」との声が聞こえました。



思い出に残る体験会になったことと思います。ボランティアの皆様、ありがとうございました。



お問合せ：千歳市教育委員会生涯学習課（担当 坪田まで）Tel 24-3153（直通）